

ふるさと光の会だより

第5号
平成22年10月

発行 ふるさと光の会事務局
連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 TEL0833-72-1400
FAX0833-72-1436 E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp



第4回総会・交流会を盛大に開催

中原靖生新会長が就任

平成22年7月9日(金)、八重洲富士屋ホテル(東京都中央区)で、ふるさと光市を愛し発展を祈る62人が集い、第4回「ふるさと光の会」総会・交流会を盛大に開催しました。



方針や役員の改選、会則の改正などが提案され、いずれも多数の拍手で承認されました。

今年、役員改選期にあたり、会の発足からこれまで尽力されてきた橋本倫啓会長が勇退され、新会長にカシノ株式会社代表取締役会長の中原靖生さんが就任しました。

また、会の運営について、これまでの行政主導から、会員を中心とする、より効率的・効果的な運営への移行を目指すことが確認されました。

総会では、会の一年間の活動や会員の光市での活躍が報告されました。続いて、今後の会の活動

交流会では、おなじみとなった光産(冠山総合公園)の梅で作られた梅酒「ひかり冠梅」で乾杯。司会の徳山ひかりさんによる会員への突然インタビューや、ふるさと光の海産物・はちみつのお土産などで、懐かしい光の思い出話に花が咲きました。

また、来賓の「ふるさと山法人ネットワーク」の会長を務める杉山敏美さんが、ふるさと山口と出身者をつなぐ取り組みを紹介し、会員の新たな活動や交流のきっかけも生まれました。

さらに、公園の歌姫として全国各地で活動されている歌手のあさみちゆきさんが、スケジュールの合間を縫って交流会に参加。ギターの弾き語りや会場の全員が聞き惚れ、アンコールの声も湧き起こり、「鮎屋で」：「青春のたまり場」など、名曲の数々に盛り上がりました。

最後は、恒例の「ふるさと」合唱と、藤井政道新副会長の音頭による万歳三唱で閉幕。会員同士、また会員とふるさと光との絆を深める、楽しい会となりました。

交流会フォトグラフ



あさみちゆきさんの歌声に会場の全員がウツリ



会員インタビューに市川熙光市長も飛び入り!



石川幸恵副会長の乾杯で楽しい交流会が開幕

新役員の方々をご紹介します

このたびの総会で選任された新役員の方々をご紹介します。

副会長1名を増員して運営体制を強化し、中原新会長を中心とする新体制11名に、2年間の任期で会を力強く引っ張っていただきます。会の一層の発展と活性化に向けて、皆さんどうぞよろしくお願います。



中原新会長(前列左から3人目)と新役員の方々、市川照光市長(前列左から4人目)、中本和行光市議会議員(前列左から2人目)

新役員

役職	氏名	備考
会長	中原 靖生	新任
副会長	福田 勝洋	
	石川 幸恵	
	藤井 政道	新任
監事	金子 和男	
	徳山 ひかり	
顧問	西崎 好一	
	近藤 克彦	
	伊藤 博雅	
	橋本 倫啓	新任
事務局長	高山 信夫	新任

中原会長からのメッセージ

7月9日開催の第4回「ふるさと光の会」で橋本倫啓氏の後任として会長に就任いたしました。このような集いは誰かがお世話をしなければならず、生まれ故郷光への想いと勤務する会社が発祥の地ということもあり、ご恩返しのためにも会長をお受けいたしました。不肖の身ですが、皆様方のご期待に沿うべく精励したいと思います。お願いたします。

光を離れて喧騒の大都会で暮らす皆様方とふるさと光を結ぶネットワークとして設立された「ふるさと光の会」も早いもので3年が過ぎました。この度、役員が刷新されたことを機に、今後は行政主導の運営から自立的な運営体制へと移行し、更なる会員相互の交流と情報交換、ふるさと光との繋がりを深化させたいと思っております。

今年3月、羽田空港から北九州

空港へ向かう機中から光市が眼下に見えました。快晴の瀬戸内にくっきりと見えた牛島、象鼻ヶ岬、白砂青松の海岸は一幅の絵画を見ているようでした。物質的に豊かになった日本人に欠けているもの、それは心の豊かさではないかと思っております。光市出身のわれわれは穏やかな気候と温厚な人々、地域文化の中で豊かな人間性を育んできました。「和みの光市」、そのふるさと光への望郷、帰心、感謝と誇りを胸に今後歩み続けていきたいものです。

「ふるさと光の会」を更に発展させるため、会員の皆様方には積極的な参加と若人も含めて「ふるさと光の会」への入会の促進など、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様方のますますのご活躍とご健勝を心から祈念申し上げます。

会員のひろば

第4回総会・交流会の出欠返信はがきで、会員の皆様から多くの「ふるさと光へのメッセージ」をいただきました。その中から、一部ですがご紹介させていただきます。

○来年は山口県で国体が開催される光市でもヨット競技が行われるようですが頑張ってください。松原海岸を思い出します。カップの頃がよかったですねえ。

○「あさみちゆき」さんの井の頭公園のライブには参加させていただきます。楽しみにしています。家から近いので楽しみです。

○毎年参加させて頂いております。定年退職後1年が過ぎました。光の実家とさいたま市の自宅を行ったり来たりしています。

○二キヒ華やかであった青春時代、戦中戦後を過ごさせて頂き、感情豊かであった時期だけに、美しい思い出が多く頭の中に残っている。具体的に云えばキリが無い程多くある。毎年中学時代のクラスメートと一、二回会っ

て青春時代の話に花を咲かせている。実に楽しい一時である。

○出席しなかったのですが、都合がつかず、残念です。年2回程度開催していただけたらうれしいのですが…。

○青年を中心とした会の開催があってもいいかなと思います。

○叔母の忌は

マロ二工燃えて
巡りけり（安平）
室積大町に、小さなマロ二工並木道が燃えていました。

○東京に出て20年経ちますが、光の美しい海や緑はいつでも目の前に浮かびます。いつまでも美しく輝きつづける街でありますよう期待しています。

○今年の3月に冠山総合公園に行きました。きれいな公園で驚きました。

○5月末に帰省したところです。緑の山並と海を見て一息ついて帰って来ました。いつまでも変わらない光市であって欲しいと思います。

☆担当から

多くの会員の方から、海や山など光の自然の美しさがメッセージで寄せられています。過去か

ふるさとだより

ふるさとの話題をピックアップして皆さんにお届けします。

ら引き継がれてきたこの自然を、ずっと守り続けていきたいと思えます。

梅まつり

（冠山総合公園）

平成23年2月6日～3月6日

菅原道真公ゆかりの冠天満宮に隣接する梅の里（冠梅園）には、100種類、約2000本の梅の木を植栽しています。会員の方からのメッセージにもありますが、2月から3月上旬にかけて、園内は赤や白、薄紅の梅の花が咲き誇り、梅の香に包まれます。

梅まつり期間中は、土・日曜日に野点や邦楽演奏など様々なイベントも催され、県内外から12万人もの観光客が訪れる、光市の一大イベントになっています。会員の皆さんにも、ぜひお越しいただきたいと思えます。





山口国体リハーサル大会

セーリング競技大会開催

来年10月の第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」に向けて、8月27日～29日、山口県スポーツ交流村（光井）ヨットハーバーで、セーリング競技のリハーサル大会が開催されました。

大会では、光市在住で成年女子セーリングスピリッツ級の矢野美晴さんが「ぶち頑張ることを誓います！」と、方言を交えてさわやかに選手宣誓。6つの種目に、全国各地から集まった130チーム、約280人の選手・監督が参加し、光の美しい海を舞台に熱戦が繰り広げられました。多くの市民ボラ



ンティアの皆さんに支えられ、天候にも恵まれて盛会裏に閉会しました。

矢野さんをはじめ光市出身選手の健闘も光り、5つの優勝を含む10部門で入賞を飾るなど、来年の国体に向けて大きく弾みをつけました。

【セーリングとは】ヨットやウィンドサーフィンなどの帆走船で、技術やスピードなどを競うスポーツ



11月にはバドミントン大会

同じく山口国体リハーサル大会として、11月21日～23日に、市総合体育館（光井）でバドミントン大会が開催されます。

これは「バドミントン日本リーグ2010」二部リーグ大会で、男女各8チームの総当たり戦が展開されます。

バドミントンは、トップレベルになるとシャトル（羽根）の最大速度が時速300kmをも超える、スピード感あふれるスポーツです。多くの方のご観戦・ご声援をお待ちしています。



伊藤公資料館に

菅直人首相の書

初代内閣総理大臣・伊藤博文公の遺品などを展示している伊藤公資料館では、歴代首相の書を収集しています。

10月24日、第94代内閣総理大臣菅直人様から直筆の書が寄贈されました。書には、菅首相の政治理念である「最小不幸社会」が記されています。

資料館では旧伊藤博文邸の築100年を記念し、菅首相を含む歴代首相11人の書を11月28日まで展示します。ぜひご来館ください。

